エラー

変換した連棟物件の建物のテクスチャーがおかしくなる

別々の建物データであっても、**各建物のテクスチャーの名前が重複することが原因**で、
本来のテクスチャーとは違う物が3Dで表示されてしまいます。

この現象を改善するためには、下記手順の様に、
オブジェクトのスクリプト（プログラム）の書き換えが必要になります。

【手順】

1. あらかじめ変換するフォルダ内にあるテクスチャーの名前を確認しておきます。
   今回はt0000から始まる名前で共通しているデータの修正を行います。

2. RIKCADを新規で起動し1棟目の建物データ（3DS）を変換し、平面図の任意の場所に配置をします。

3. 配置した建物を選択し、メニューバー［ファイル／GDL オブジェクト／オブジェクトを
   を実行します。

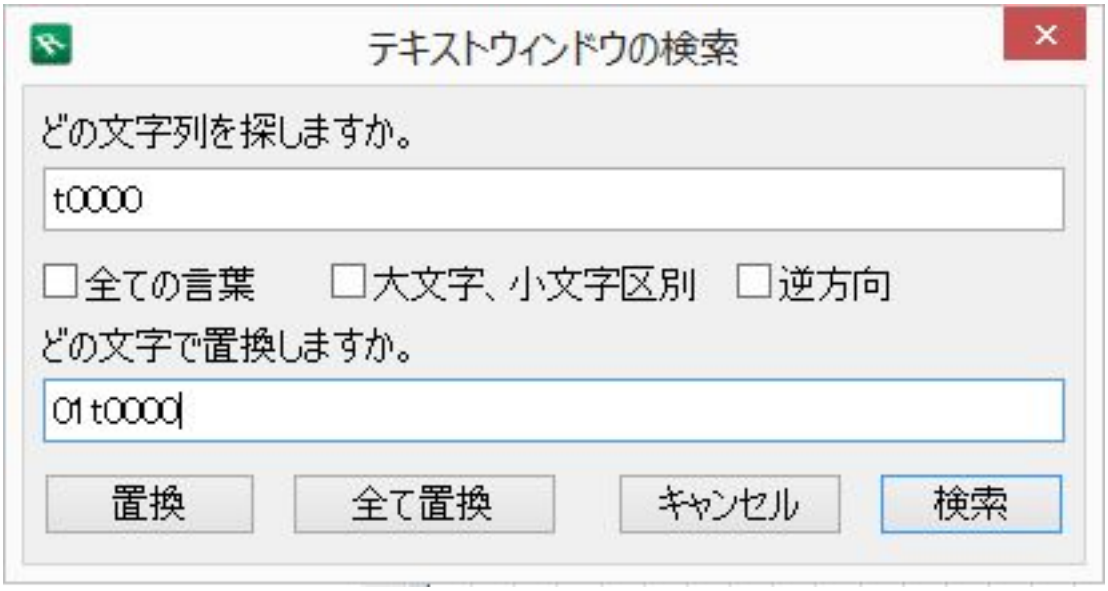
4. 下図のような“ オブジェクト構成ダイアログ ”が開きますので、［3D］ボタンをクリックします。



(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja

5. “ 3D ｽｸﾘﾌﾟﾄ ” のダイアログが開きますので、メニューバー［編集／検索と置換］を実行します。

6. 下図のような “ ﾃｷｽﾄｳｨﾝﾄﾞｳの検索 ” ダイアログが開きますので、
［どの文字列を探しますか。］の欄に「ｔ0000」と入力し、
［どの文字で置換しますか。］の欄に「01ｔ0000」を入力し、
最後に「全て置換」ボタンをクリックします。



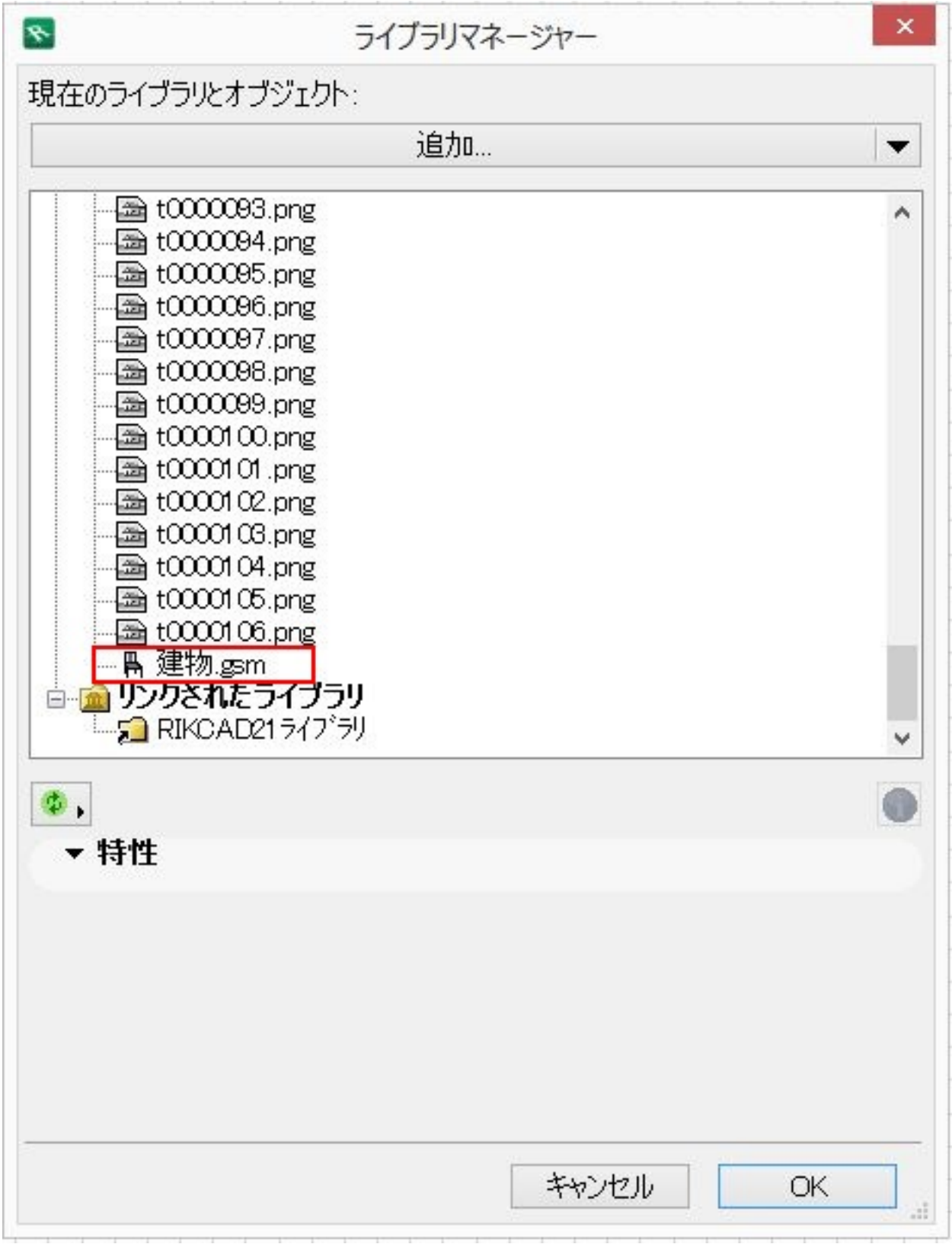
7. これでt0000ではなく「01t0000」から始まるテクスチャーを
使用するスクリプトに書き換えられました。

8. 置換が終わったら、メニューバー［ファイル／上書き保存］を実行し、
「オブジェクト構成ダイアログ」を右上の×ボタンで閉じます。

9. 次に建物データを外部に吐き出しを行います。メニューバー
［ライブラリマネージャ］を実行し、埋め込みライブラリ内に
ある建物の名前の付いたgsmファイルを選択します。

(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja

エラー



10. 下図にある保存ボタンをクリックし、変換元の建物データのある
フォルダにファイルを保存します。

(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja

エラー

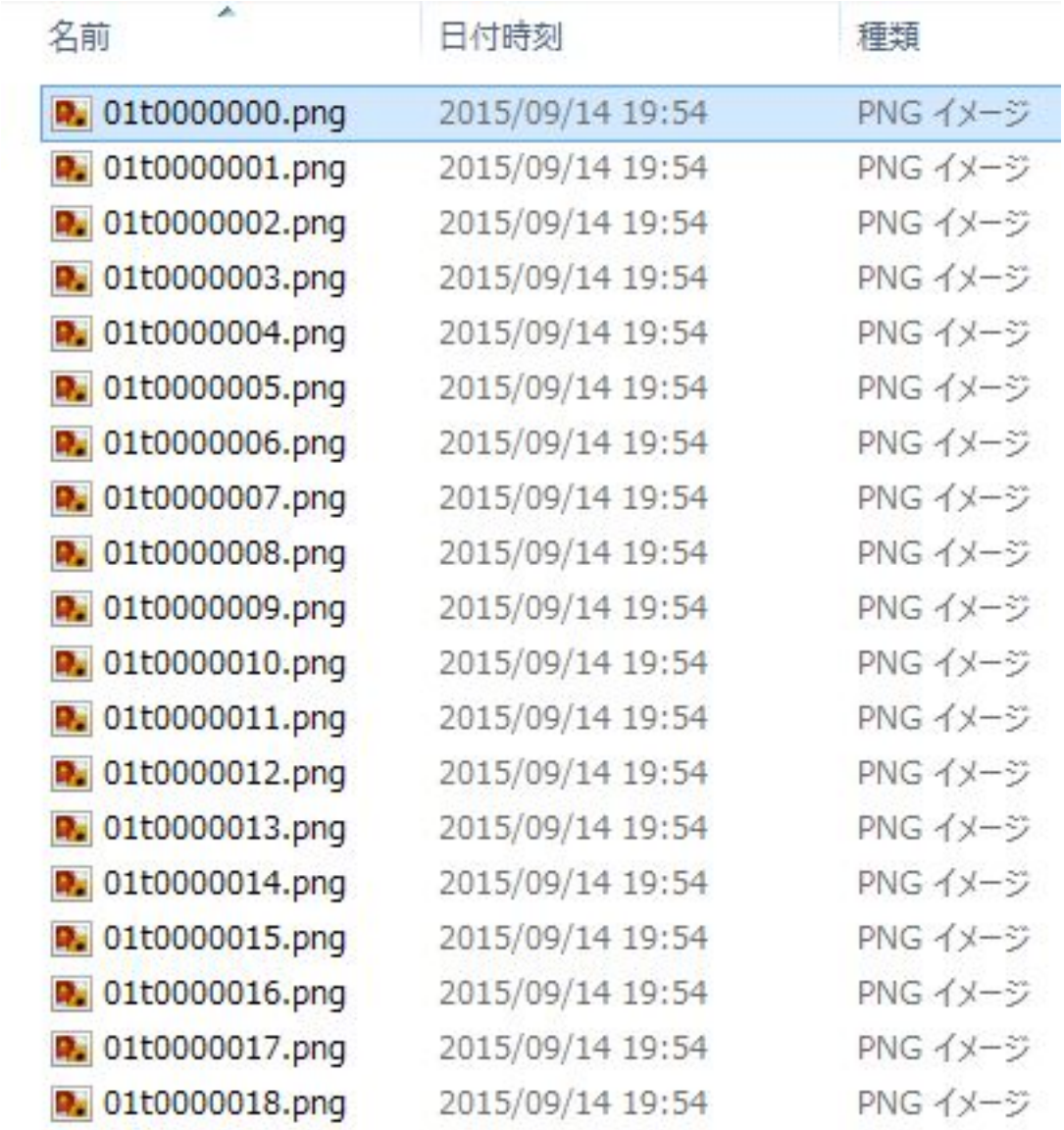


11. 保存が終わりましたら、ファイルを保存せずに終了します。

12. 建物フォルダ内にある「t0000」から始まるテクスチャーデータの「ファイル名」を、すべて「**01t0000**」へ変更します。

(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja

エラー



名前	日付時刻	種類
01t0000000.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000001.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000002.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000003.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000004.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000005.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000006.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000007.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000008.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000009.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000010.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000011.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000012.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000013.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000014.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000015.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000016.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000017.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ
01t0000018.png	2015/09/14 19:54	PNG イメージ

13. 新たにRIKCADファイルを新規作成し、「手順2」から「手順5」までを行います。

14. 手順6の“ テ キ ス ト ウ ィ ン ト ゛ ウ の検索 ”ダイアログが開き、
［どの文字列を探しますか。］の欄に「ｔ0000」を入力し、
［どの文字で置換しますか。］の欄に「**02**ｔ0000」を入力し、
「全て置換ボタン」をクリックします。

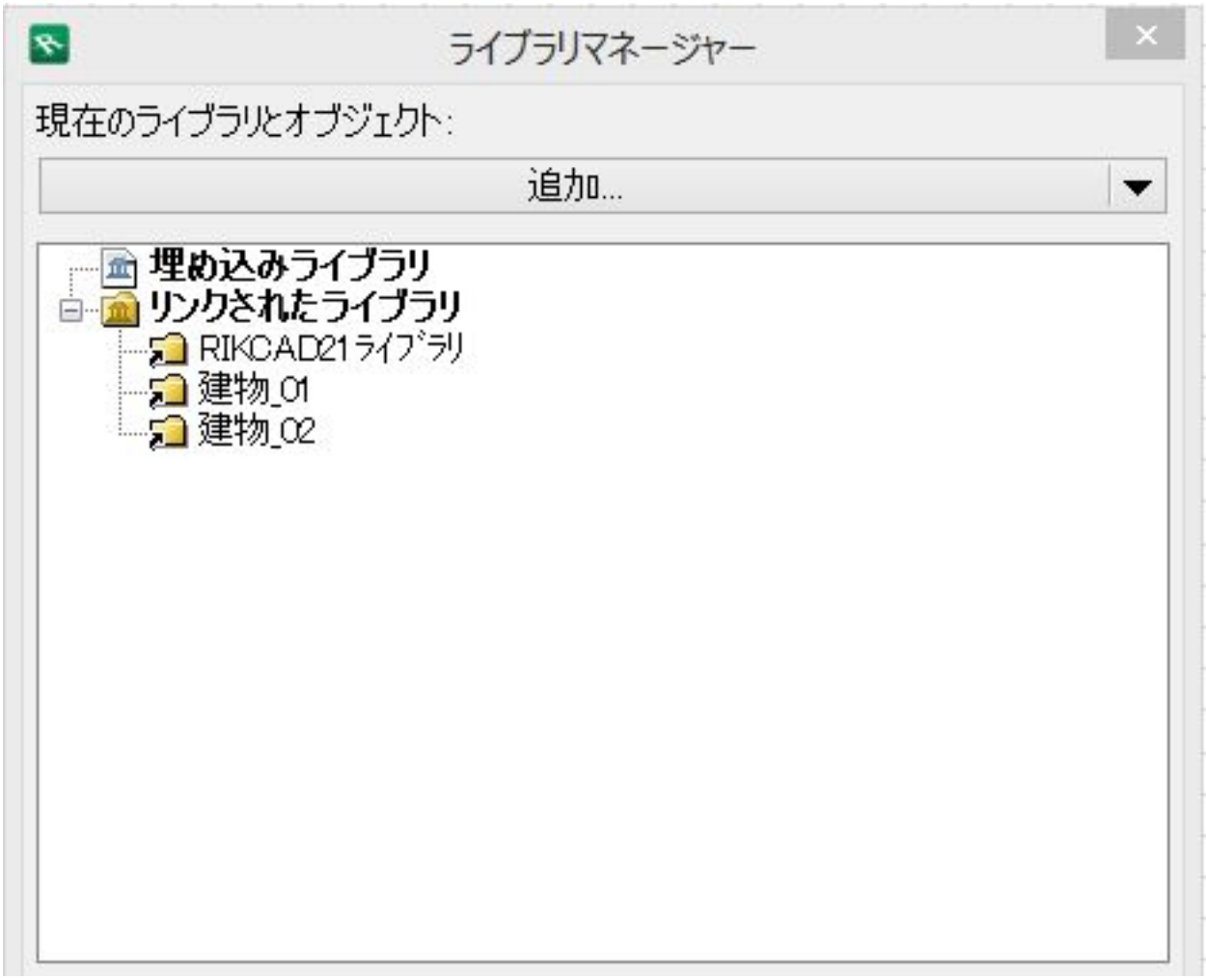
15. 「手順8」から「手順12」までを行います。**これを配置したい建物の棟数分**行います。

16. 最後に建物を配置したいプランデータを起動し、
メニューバー→［ライブラリマネージャ］を実行します。

17. 追加ボタンをクリックし、保存した建物gsmのあるフォルダを選択し、
追加ボタンを押し、「OK」でライブラリマネージャを閉じます。

(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja

エラー



18. オブジェクトツールに建物のフォルダが追加される為、建物を選択して配置し、3D画面でテクスチャーが正常に表示されているかを確認します。

一意的なソリューション ID: #1415
製作者: ヘルプデスク
最終更新: 2019-10-31 17:34

(c) 2024 RIK <ksumatani@rikcorp.jp> | 2024-03-28 15:46:00
URL: http://faq.rik-service.net/index.php?action=artikel&cat=19&id=416&artlang=ja